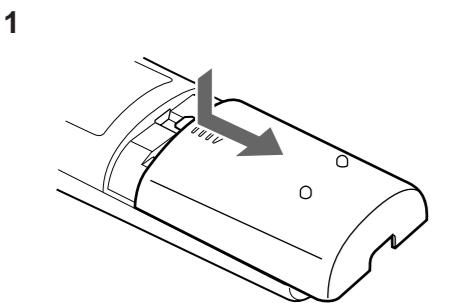
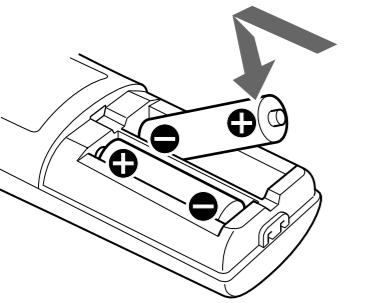


乾電池の入れかた

図のように、付属の乾電池を入れてください。



1



動作距離が短くなってきたら、乾電池を交換してください。
交換するときはに時間がかかると、お買い上げ時の設定（ソニー製品用）に戻ってしまうことがあります。再び他社製品を操作できるようにするには、「お手持ちのテレビ・ビデオ・オーディオ機器を操作するには」を参照して、メーカー設定をやり直してください。

電池についての安全上の注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

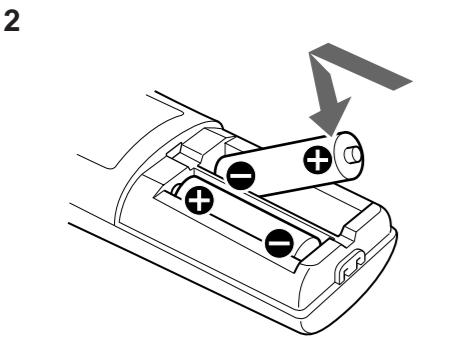
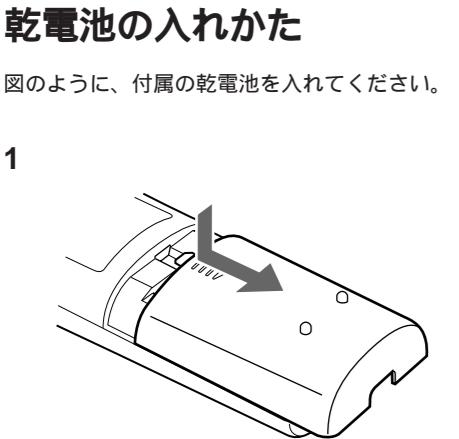
△警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

△注意

- ④と⑤の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとてから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



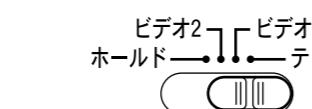
お手持ちのテレビ・ビデオ・オーディオ機器を操作するには

お買い上げ時はソニーのテレビ、VHSビデオ、8ミリビデオ、MD、CDを操作するようになっています。それ以外の機器をお使いのときは、以下の設定を行ってください。

テレビとビデオは別々のメーカーを設定することができますが、ビデオ一体型テレビは1つの設定しかできません。

他社のテレビを操作するには

1 テレビ／ビデオ1／ビデオ2／ホールド切り換えスイッチを「テレビ」に合わせる



2 テレビ電源ボタンを押しながら、テレビのメーカーのコードAとビデオ一体型テレビのコードB（一覧表参照）を順番に押す



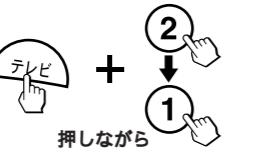
2 テレビ電源ボタンを押しながら、テレビのメーカーのコードAとテレビのコードB（一覧表参照）を順番に押す

対応メーカー一覧表（テレビ／ビデオ／ビデオ一体型テレビ）

メーカー名	コードA	テレビ	ビデオ	ビデオ一体型テレビ
コードA	コードB	コードB	コードB	コードB
ソニー	1	1.2.3	1.2.3.4	4.5.6
パナソニック	2	1.2.3	1.2.3.4	4.5.6
ナショナル（松下）				
東芝	3	1	1.2	2.3
日立	4	1	1.2	2.3
三菱	5	1.2	1.2.3.4	3
ビクター（JVC）	6	1.2.3	1.2.3.4	4
サンヨー	7	1.2.3	1.2.3.4	4.5
アイワ	7	7	7.8.9.10.11.12	8.9.10
シャープ	8	1.2	1.2.3	3
フナイ	8	7.8.9	7.8.9	10.11.12
PRECIOUS				
NEC	9	1.2.3	1.2.3.4	
富士通	9	7.8	7	
パイオニア	10	1.2	1	
フィリップス	11	1.2	1	
その他	12	1.2.3.4.5	1.2	6.7.8

他社のオーディオ製品を操作するには

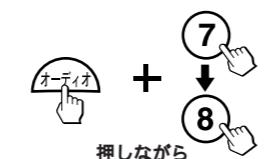
1 MD／テープ／CD切り換えスイッチを「MD／テープ」または「CD」に合わせる



2 オーディオ電源ボタンを押しながら、オーディオ製品のメーカーのコードAとMD、テープデッキまたはCDのコードB（一覧表参照）を順番に押す



2 テレビ電源ボタンを押しながら、ビデオのメーカーのコードAとビデオのコードB（一覧表参照）を順番に押す

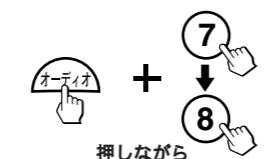
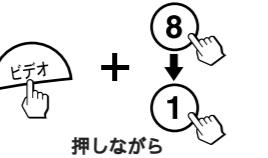


設定が完了すると

電源ボタンを離したときに、「ビー」という音が鳴ります。本機で操作ができるかどうか確かめてください。

リモコン操作ができないときは

各コードに複数の番号があるメーカーもあります。1つの番号を試してみて設定できなかったときは、別の番号で操作2を行ってください。



リモコン操作ができないときは

各コードに複数の番号があるメーカーもあります。1つの番号を試してみて設定できなかったときは、別の番号で操作2を行ってください。

対応メーカー一覧表（オーディオ製品）

メーカー名	コードA	MD	デッキ	CD
コードA	コードB	コードB	コードB	コードB
ソニー	1	1.2	3.4.5.6	1.2
パナソニック	2		1.2.3.4	1.2.3.4
ナショナル（松下）				
ビクター（JVC）	6		1.2.3	1.2
サンヨー	7		1	1
アイワ	7		7.8	7.8
シャープ	8		1.2.3	1.2
パイオニア	10		1.2.3.4	1.2.3.4
ケンウッド	12		1.2.3	1.2
DENON	12		4	3
ONKYO	12		5.6	4
YAMAHA	12		7.8	5.6
SANSUI	12		9.10	7

リモコン信号を記憶させる（学習機能）

リモコン信号を記憶させる（学習機能）

設定コードを持たない機器や本機にはない機能を持つ機器は、そのリモコンの信号を本機の一部のボタンに記憶（学習）させて操作することができます。

最大22種類の信号を学習できます。

- A、B、C、D、E、Fの各ボタンにひとつずつ（計6種類）
- オーディオ電源、オーディオ■、◀◀、▶▶、◀、▶、音量+/-の各ボタンには、MD/CD/テープ切り換えスイッチの「MD/CD」時と「テープ」時それぞれひとつずつ（計16種類）

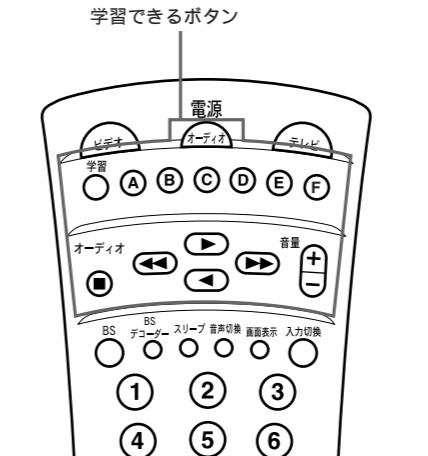
学習させるには

1 学習ボタンを押す。

「ピッ」と鳴って学習モードになります。



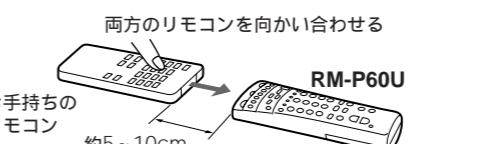
2 学習させる本機のボタンをひとつ押す。



操作1のあと10秒以内にボタンを押さないと、「ビビビビビ」と鳴って学習モードは解除されます。

3 他のリモコンの記憶させたいボタンを押し続ける。

「ピッ」と鳴る（学習完了）まで押し続けてください。



「ピッ」と鳴ったら学習完了ですので指を離します。

「ビビビビビ」と鳴ったら学習できなかったときですので、もう一度上記の手順で記憶させ直してください。

操作2のあと10秒以内にボタンを押さないと、「ビビビビビ」と鳴って学習モードは解除されます。

学習させた内容を変えるには

一度学習させたボタンの内容を変えるときは、再度操作1から3を行って新しい内容を記憶させてください。古い内容を消去する必要はありません。

上手に学習させるには

- 学習させるときは、リモコンを動かさないようにします。
- お手持ちのリモコンはなるべく新しい電池を使います。
- 強い光の下は避けます。

ご注意

何回試しても学習できない場合、本機では記憶できないパターンの信号であります。

学習内容を消去するには

1つのボタンの内容を消去するには
テレビの電源ボタンと、入力切換ボタン、学習内容を消去したいボタンを同時に押します。



MD/CD/テープ切り換えスイッチ「MD/CD」側の機器の音量を調節する場合
オーディオ電源ボタンを押しながら、オーディオの音量+ボタンを押します。



オーディオのボタンは、内容を消去するとメーカー設定の内容に戻ります。

すべてのボタンの内容を一度消去するには
ビデオの電源ボタンと、入力切換ボタン、テレビの音量-ボタンを同時に押します。



学習させた内容がすべて消され、メーカー設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

テレビの音量調節に戻すには

オーディオ電源ボタンを押しながら、オーディオの音量-ボタンを押します。



操作1のあと10秒以内にボタンを押さないと、「ビビビビビ」と鳴って学習モードは解除されます。

操作2のあと10秒以内にボタンを押さないと、「ビビビビビ」と鳴って学習モードは解除されます。

オーディオ機器の音量をテレビの音量ボタンで調節するには

テレビの音量ボタンを使ってオーディオ機器の音量を調整するように設定できます。例えば、テレビの音声をオーディオアンプを通して聞いているときなどに便利です。

MD/テープ/CD切り換えスイッチ「CD」側の機器の音量を調節する場合

オーディオ電源ボタンを押しながら、オーディオの音量+ボタンを押します。

